

毎週日曜発行
2023 01/22

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



こんにちは。僕ドローン。ドローンは英語で、雄の蜂という意味なんだ。空を飛ぶ時に出る「ブーン」という音が、蜂が飛んでいるように聞こえるみたい。

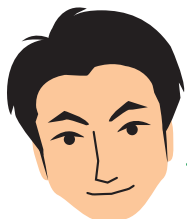
最近はいろんな所で、僕の仲間が活躍しているんだけど、知っているかな。空を飛ぶのが得意で、人間よりも簡単に、できることがたくさんあるんだ。カメラで景色を撮影したり、広い畑に肥料

おりはらアドバイザーの

学ぼう防災

32

きょうのテーマ



津波避難広報にドローン自動発進!

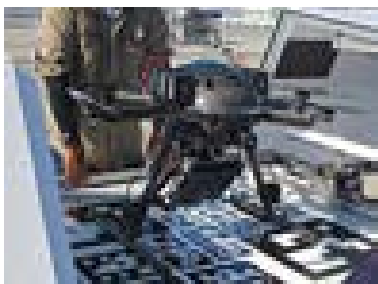
津波警報等の発表

基地局からドローン2機が自動でテイクオフ!!



機体(ACSL PF-2)

海岸沿いを自動飛行音声で避難呼びかけ



GPSと基地局のQRコードを基に自動着陸
GPS: 衛星利用測位システム



津波避難呼びかけ空から

ドローン 危険な任務代行

をまいたり、物を届けたり。おもちゃの仲間もいるから、もしかしてみんなのおうちにもいるかもしれないね。

そんな中、まだ誰も経験したことのない、世界で初めての大役を任せられたんだ。災害から人の命

を守るための、とっても大切な仕事。

職場は仙台市の海岸沿い。いつもは「南蒲生浄化センター」という所で出勤に備えている。津波注意報や警報、大津波警報の発表が、出動の合図だよ。すぐに飛

び立って、海の近くにいる人に大きな音で津波が来ることを知らせ、避難を呼びかけるんだ。同時に、空から見ている景色を市の災害対策本部に映像で届けているよ。

この「津波避難広報」は、ドローンにふさわしい仕事だと思っている。津波の知らせはヘリコプターや消防車、防災ス

ピーカーや携帯電話などでもされるけれど、実は弱点もある。東日本大震災のとき、津波で失われた命の中には、避難を呼びかけ続けて奪われた命があったんだ。

すぐに飛べ、津波が届かない空を自由に移動できる。危険な任務は、これから僕みたいな最新技術が、どんどん代わって

やっていけたらと思う。

ちなみに、飛ぶのは人の力は借りないよ。津波警報などが発表されたら自分で、決められたエリアを飛んで、活動ができる。ここが少し、他の仲間たちよりもすごいところかな。

もうすぐ震災から12年。僕から避難を呼びかけられたら、みんなすぐに逃げてほしい。みんなが逃げれば、自分はもちろん、他の誰かの命を守れるかもしれないからね。

(仙台市防災・減災アドバイザー・折腹久直)

今週の注目ニュース

◇24日(火) 全国学校給食週間スタート
戦争で中断していた学校給食が、1946年12月24日に再開されたよ。冬休みと重ならない1月24日から1週間を、給食の役割を考える週間としたんだ。栄養バランスの取れた給食を、楽しみながら食べよう。

みんなの紙面

- 2面 みんなのギモンにこたえるモン
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 聞いて学べる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ